

ふるさと歴史講座(全2回)

今年度の歴史講座は、中世をテーマに講座を行います。

日時 ①11月15日(土) ②11月22日(土)午後2時～3時30分

場所 中央公民館

演題 ①「安保氏館跡・阿保境の館跡-発掘された中世の館-」
②「鎌倉殿と武蔵武士」

講師 ①生涯学習課職員
②駒見 敬祐 氏

費用 無料

定員 先着30名(各回)

申込み 電子申請または
生涯学習課文化財担当
へ電話で申込み。



電子申請

※申込みは回ごとになります。

※申込み開始日 10月1日(水)

問合せ 生涯学習課 文化財担当
☎0274-52-2586
FAX0274-52-2586

神川企画舎事業

清水アキラものまね歌謡ショー
(ゲスト 美里里美)

日時 11月16日(日)

開場 午後2時～

開演 午後2時30分～

場所 中央公民館ホール

チケット料金 2,000円※全席自由

チケット取扱所 中央公民館

主催 神川町イベント実行委員会

「神川企画舎」

後援 神川町教育委員会

問合せ 中央公民館

☎0495-77-3671

FAX0495-77-5066

自主講座 初心者太極拳教室

ゆっくり動きながら、柔軟性、筋力アップにつながる「太極拳」を一緒に
はじめて見ませんか。

日時 11月5日、19日、12月17日
(全て水曜日、全3回)

午後1時30分～3時

場所 就業改善センター 大会議室

主催 神川太極拳クラブ

定員 先着10名

持ち物 タオル、水分補給用飲み物、
運動のできる服装と靴

申込・問合せ 中央公民館

☎0495-77-3671

FAX0495-77-5066

神川町バドミントン協会主催

第15回神川町バドミントン大会

日時 11月16日(日)午前9時～

受付は午前8時30分～

場所 B&G海洋センター

種目 ダブルス(男女区別なし)

【A ベテラン】経験年数5年以上

【B 中堅&シニア&中学生】

①経験年数2～5年程度②65歳以上

のシニア③中学2年生以上

【C 初心者】①経験年数1年程度

②70歳以上のシニア③中学1年生

&小学生

※クラスは申込時に相談ください。

対象 小学2年生以上の方

費用 1組2,000円

申込み 10月25日(土)までにかみ

かわスポーツにお申込みください。

申込・問合せ かみかわスポーツ

☎0495-77-3448

FAX0495-77-2763

生涯学習 だより

公民館 今月の第一展示室

「写真展」

団体名 写遊神川倶楽部

期間 10月31日(金)まで

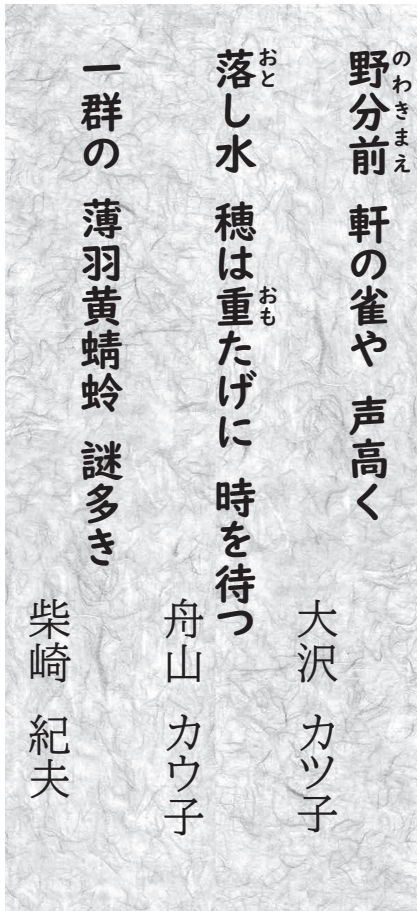
午前9時～午後5時

期間は前後する場合があります。

問合せ 中央公民館

☎0495-77-3671

FAX0495-77-5066



広告 広告は、広告主の責任において町が掲載したものです。



広告 広告は、広告主の責任において町が掲載したものです。

ねんきんだより 2年以上の受け取りで元がとれる付加年金制度

問合せ 保険健康課 年金担当 ☎0495-77-2113 FAX0495-77-2117

付加年金制度とは、定額の国民年金保険料に加えて月額400円の付加保険料を納めることで、将来受給する年金額を増やすことができる制度です。

①保険料として納める額

定額の国民年金保険料 月額 17,510 円 (令和7年度)

+

付加保険料 月額 400 円

②将来受け取る老齢基礎年金額

老齢基礎年金 ※支払期間によって受取金額は異なります

+

200 円×付加保険料納付月数

【付加保険料を40年間(480か月)納めた場合】

納める付加保険料の総額は… 400円×480月=192,000円

毎年受け取ることができる付加年金額は… 200円×480月=96,000円

⇒付加年金として毎年96,000円受け取ることができます。

⇒付加年金を2年受け取れば納めた付加保険料の総額と同額となるため、将来的に大変お得です。

<納めることができる方>

- 国民年金第1号被保険者
- 任意加入被保険者(65歳以上の方を除く)
- 産前産後免除期間に該当の方

<納めることができない方>

- 国民年金保険料の納付を免除または猶予されている方
- 国民年金基金に加入されている方

問合せ

熊谷年金事務所 048-522-5012

保険健康課 0495-77-2113

熊谷年金事務所 相談予約受付専用番号

年金事務所の相談窓口は非常に混雑しておりますので、

事前にご予約をお願いします。

予約受付専用番号 0570-05-4890

かみかわ町長コラム

未来を見据え持続可能なまちへ「丹荘地区へのチャレンジ」

行政は町の「総合計画」や「総合戦略」に基づきまちづくりを進めていますが、人口は2000年をピークに減り続け2050年には1万人をきる予想です。一方で高齢化の進行や、自然災害の激甚化・頻発化など様々な課題があります。

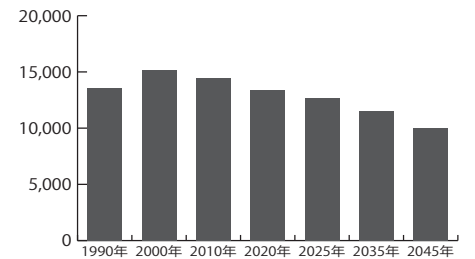
これらの社会情勢の変化に合わせ、町を「コンパクト」にし、「ネットワーク」で結ぶ必要があります。具体的には、都市機能の集約、災害に強い町への転換、駅や役場(丹荘地区)を中心とした拠点形成、公共交通による移動手段の確保などがあります。

また、将来にわたって安心して住み続けられる「コンパクトで持続可能なまち」の形成を目指し、概ね20年後の神川町を展望する「神川町立地適正化計画」が本年3月に作成されました。町ホームページに掲載していますのでご覧ください。(計画は随時、見直していきます。)



神川町長 櫻澤 晃

人口の推移



※2035年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値